

2025 年 5 月例会報告

1. テーマ：「荻窪 歴史散策」
2. 開催日：2025 年（令和 7）5 月 22 日（木曜日）10：00～14:30
3. 参加者：小川俊成、石村、細越、高橋、堀越、宮崎、矢口、内田、後藤、角田、小高、永瀬泉、小川啓介（14 名 敬称略）
4. 歴史散策三カ所の行程は：



＜荻外荘＞ 客間



⇒ ＜角川庭園＞



⇒ ＜大田黒公園＞ イチョウ並木

この時期、薫風薫 5 月の爽やかさを期待していたが、あいにく、梅雨の前触れのようなどんよりした空であった。終日雨に見舞われなかったのは幸いであった。なお、移動のすべてはウォーキング。

最初に訪れた荻外荘は、事前にガイドを予約しており、館内を約 30 分にわたり案内をうけた。建物の細部にわたる説明が丁寧で判りやすかった。同時に、戦前の、その当時の様子・状況等を思い廻らすことが出来た様な感じを持った。荻外荘の一般公開は予てより要望が多く、再現には多大な時間と多くの費用が掛かったときいているが、説明用の映像等もしっかり準備されており全般の理解に役だった。

角川庭園は、角川書店創業者の角川源義の邸宅が杉並区に寄贈され 2009 年より一般公開。邸宅は展示室、詩歌室、茶室として利用されている。また、庭木の手入れも行き届いており、整然としている印象を受けた。

続いて訪問した太田黒公園は、正門から入ったところにある 27 本の大イチョウ並木が壮観で圧倒される。庭園内に入るとケヤキ、アカマツ、シイノキなどの巨木がうっそうと茂っており、さらに新緑のモミジが来園者を迎えてくれる。記念館には生前愛用したスタインウェイ社製のピアノ/他が展示されている。

三庭園を終えて帰り道には、昭和の初期に建てられ、現在も使われている旅館（西郊ロジング）を見ながら最終の懇談会場中華レストラン（りぼう）に向かった。この後、本日の散策が無事に終わったことを確認し散会となった。



荻外荘を背景に記念撮影

（文/写真：小川啓介） 以上